



### ダイブダウン機構によるフラットな荷室フロア。

思う存分詰め込む楽しさをお届けします。独自のセンタータンクレイアウトにより、限りなくフラットな荷室空間が生まれ、より多くの荷物を積み込むことができます。



### 積み込んだら、離れるだけ。

「ハンズフリーアクセスパワーテールゲート（予約クローズ機能付）※1」は、荷物でいっぱいのおななを少しだけお手伝いします。Hondaスマートキーを持っていれば、ハンズフリーでテールゲートの開閉が可能です。予約クローズ機能を使えば、ボタンを押して立ち去るだけで閉屏できます。また車両設定※2により予約クローズ後の自動施錠も可能です。

※1タイプ別設定。

※2カスタマイズ画面内の「車両設定」より、設定が可能です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。



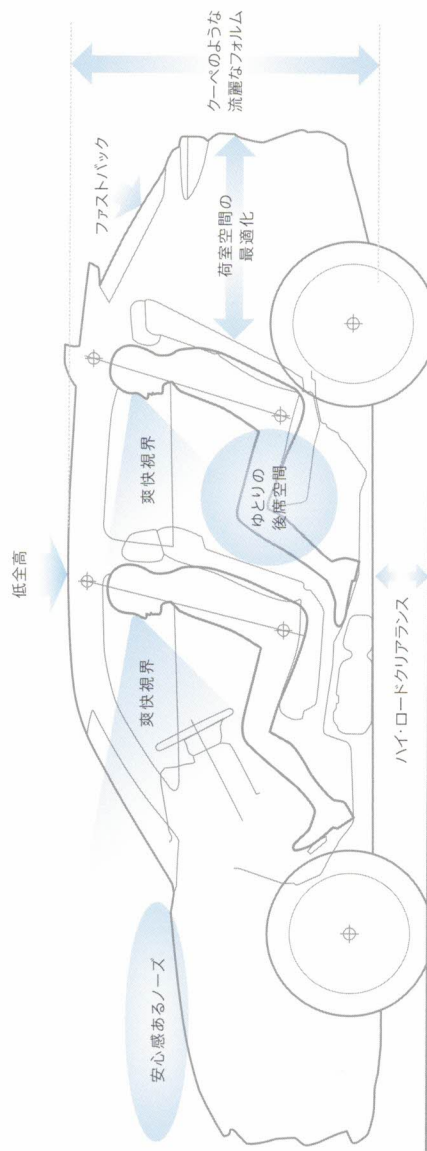
### 載せたいものが、載る荷室。

載せるものから、逆算しました。キャンプ道具、ゴルフバッグ、マウンテンバイク。積載容量ではなく、載せたいものが載ることを第一に、高効率な荷室空間を設計しています。また開口部地上高も、重量物を積み降ろししやすい高さに設定しています。

## 人間中心。その到達点。

人のためのスペースは最大に。メカニズムは最小に。  
そんな思想から生まれたHonda独自の「センタータンクレイアウト」は、  
デザインと居住性を高度に両立することでその本領を見せています。  
ノーズとキャビンが伸びやかに連続する流麗なフォルムと  
力強い足回りでデザイン性を高める一方、後席の空間性能とユーティリティを大きく向上。  
足元スペースや、前席との距離にゆとりを確保しながら、  
リアシート背面の厚みを増し、「後席充電用USBジャック※4」、エアコンの風を後席へ届ける  
「リアベンチレーション※4」を装備するなど多くのSUVとは一線を画す快適性を誇ります。

■イメージ図



先代モデルからボディサイズを大きく変えることなく、よりスタイリッシュなバランスを実現。後席の居住性は確保され、十分な開放感と抜けのある視界が広がります。また、大径タイヤを採用しながらも取り回ししやすい最小回転半径が維持されています。

最小回転半径  
5.3m/5.5m※3

※1 eHEV X、Gは1,580mm。 ※2 eHEV Zの4WD車は180mm、eHEV X、GのFF車は185mm、eHEV Z、eHEV X、Gは5.3m。 ※3 eHEV Z、eHEV X、Gは5.3m。 ※4 タイプ別設定。  
Photo: eHEV Z (FF) ボディカラーはプレミアムホワイトポト、パール、メーカオプション装着車